

東京の観光振興を考える有識者会議 令和8年2月10日(火)
ゲストスピーカー資料

観光と都民生活の調和 —観光と共に輝き続ける世界都市 東京へ

公益財団法人日本交通公社
観光研究部 主任研究員 後藤健太郎



目次

会社紹介

はじめに-視点と視野

観光と住民生活の調和に向けて

1 表面化する問題への対応

2 変容・複雑化する問題への対応

3 観光客との共創への再構築

まとめにかえて

観光と共に輝き続けるために

会社紹介

会社概要

公益財団法人日本交通公社
Japan Travel Bureau Foundation
1912年設立(1963年改組)

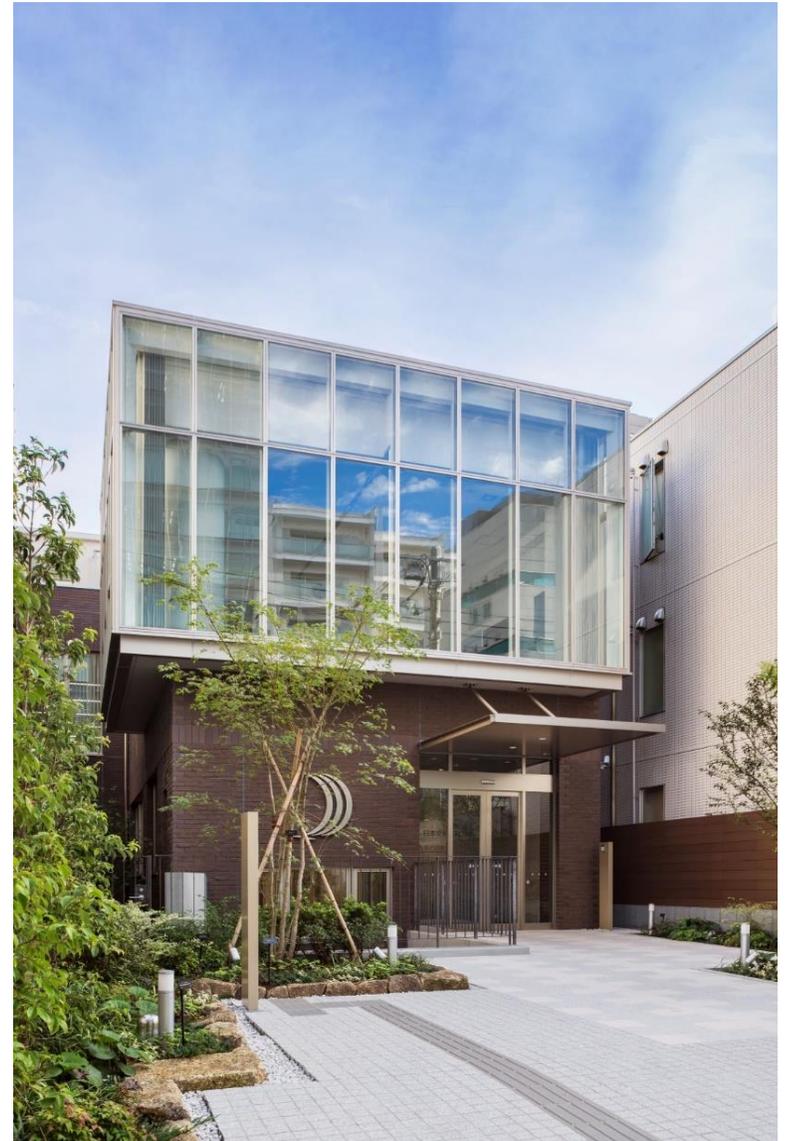
経営理念

私たちは、「観光文化の振興」を担う公益財団法人として、調査研究事業を進めることにより、観光を通じた豊かな社会の実現に貢献します。

組織体制

総務部、観光研究部、旅の図書館
研究員 30名弱

- －主任研究員 後藤健太郎(2008年～現在在籍)
観光政策／観光まちづくり／観光地マネジメントなど
主に地域の観光振興の調査研究や支援業務に従事

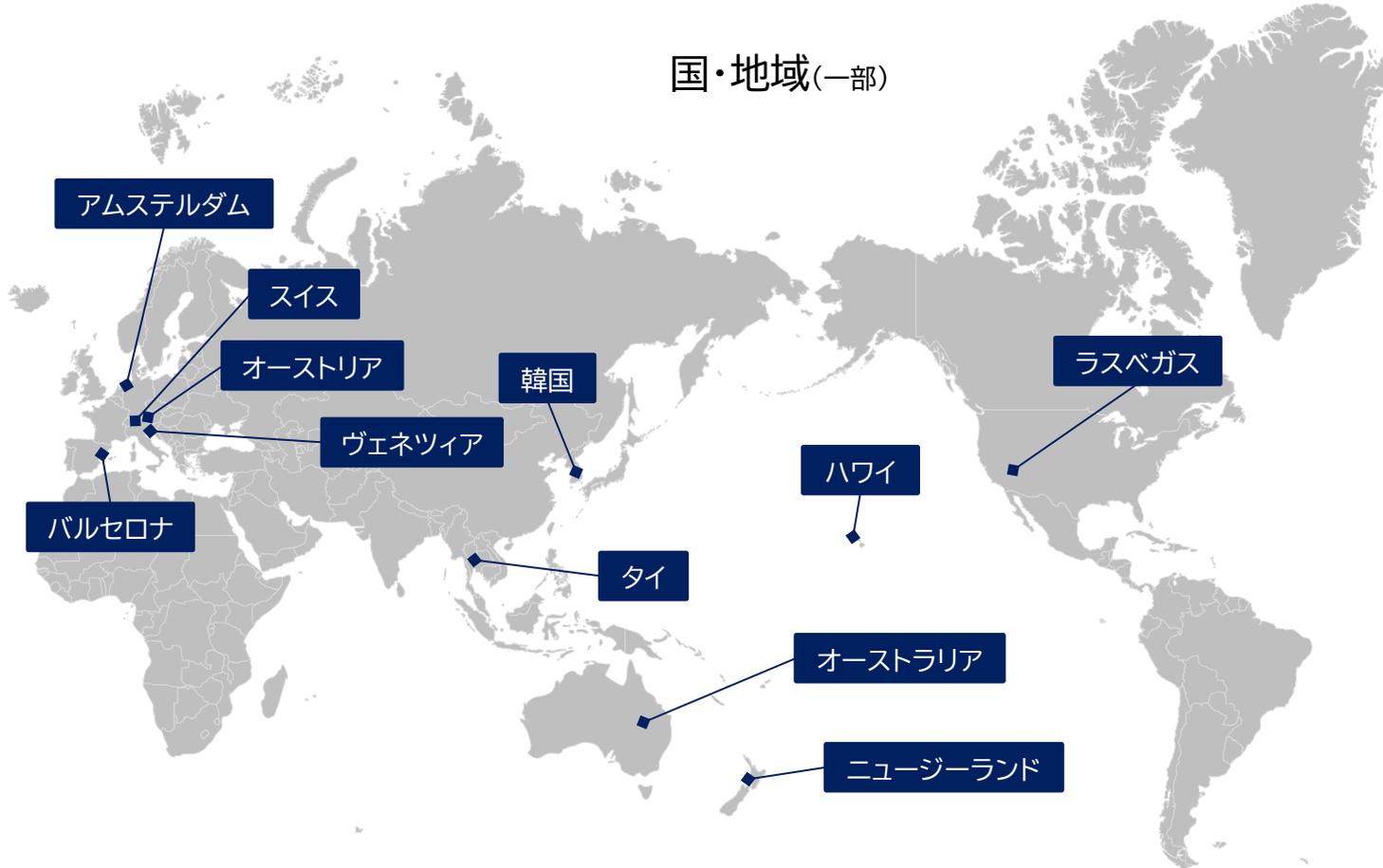




機関誌「観光文化」 年4回発行

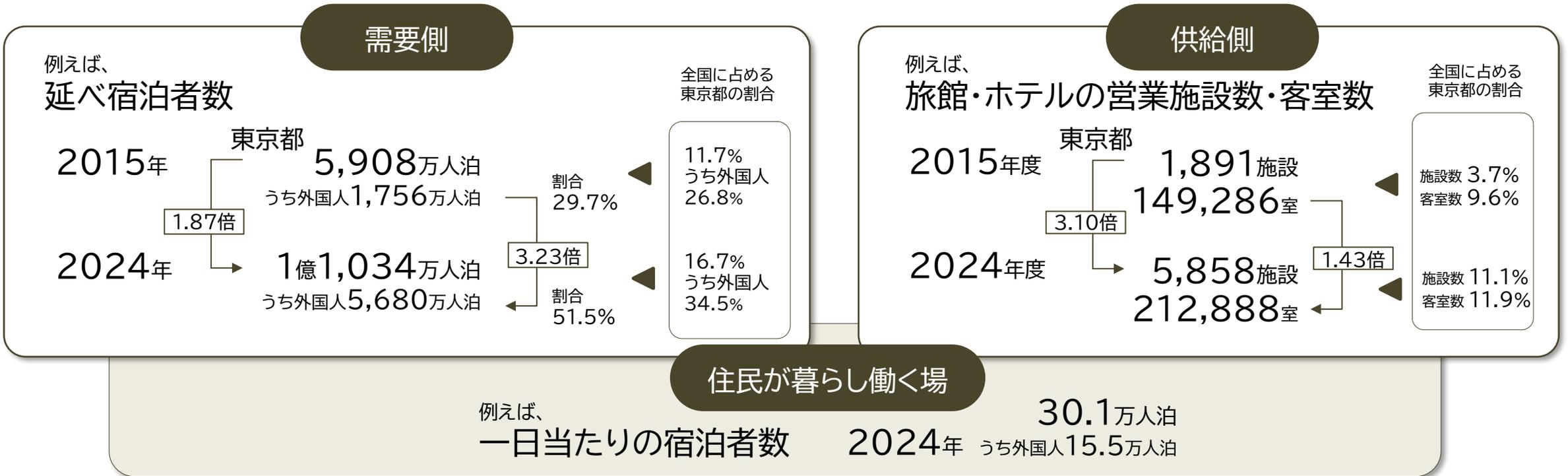
—海外の観光地の動向を視察し発信— 近年 毎年1回

国・地域(一部)



観光と住民生活の調和に向けて

観光を都市の持続的な成長に繋げるためには、
観光の好影響を保ちつつ、望ましくない影響が過度になる前に即応策を講じる
さらにバランスを測り予防しながら、観光客と共に地域を創る仕組みを整えることが重要



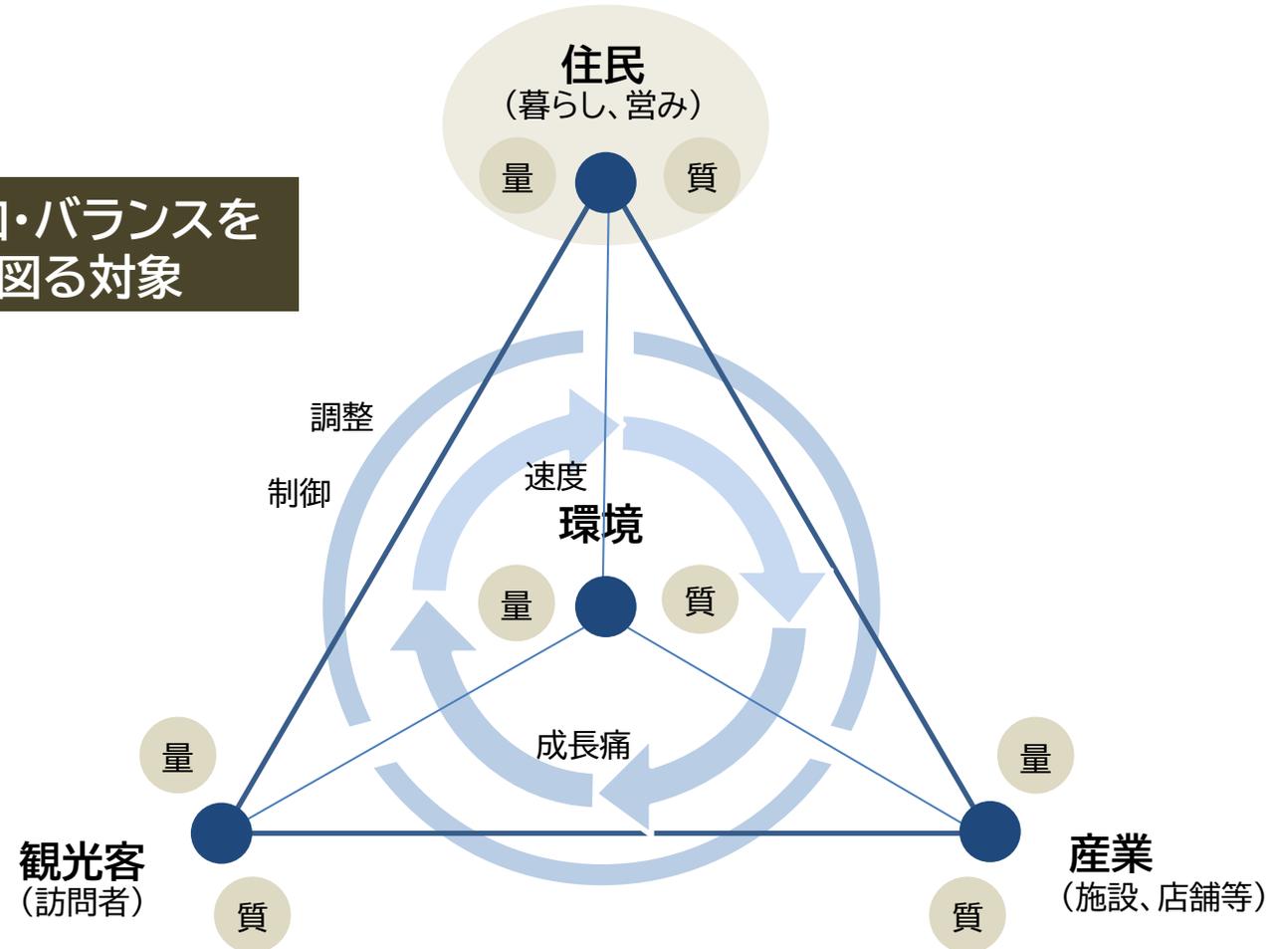
はじめに-視点と視野

本日の視野と視点

人々が暮らす都市には
変化が常にある

都市という“生き物”の
代謝を調整、制御し
成長に繋げる
マネジメント機能が必要

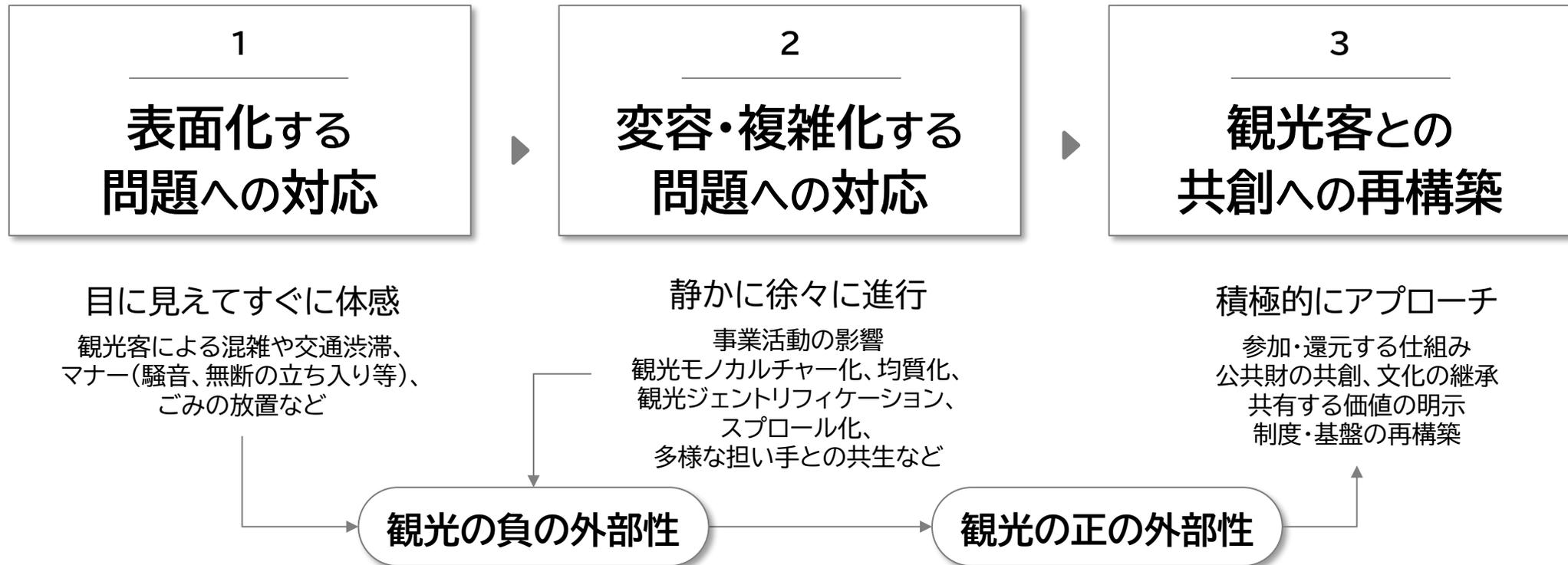
調和・バランスを
図る対象



出典:「A Practical Guide to Tourism Destination Management」(UNWTO, 2007)のVICEモデルをもとに、筆者作成
(Visitor, Industry, Community, Environment and Cultureの頭文字)

本日の視野と視点

観光を通じて住民の暮らしを豊かにしていくには



事例紹介

- 主に近年の海外事例を中心に整理(取組主体、空間レベルにおいて、様々なものを同時に扱っている)。
- 網羅的ではない。既に国内でも取り組まれているものはあまり扱っていない。
- 取組事例は各地域の社会構造や戦略全体から理解することが望ましいが、本資料では省略(基礎データなど)。
- 間断なく新たな対策が打ち出されている状況(社会実験的)。対策によって生じる(懸念される)副作用などもあり。

1

表面化する 問題への対応

目に見えてすぐに体感
観光客による混雑や交通渋滞、
マナー(騒音、無断の立ち入り等)、
ごみの放置など

住民の“暮らし”や“移動”への 直接的な観光の影響をいかに抑えるか

混雑や交通渋滞

マナー
(騒音、無断の立ち入り等)

ごみの放置

テクノロジー・
データの活用

規範の制度化(明文化、条例等)

観光客への直接的な
働きかけだけでなく、
事業者や店舗での対応

▶観光客の管理と教育

▷事前予約制

ーダイヤモンドヘッド

州立記念公園(アメリカ・ハワイ州)

▷教育ビデオの視聴義務化

ーハナウマ湾州立公園(アメリカ・ハワイ州)



▶住民のアクセス確保

▷予約不要、無料

ーハナウマ湾州立公園

(アメリカ・ハワイ州)

▷住民専用時間

ーグエル公園(バルセロナ)

▷住民専用駐車スペース

ーニセコひらふ(倶知安町)



▶観光地の行動管理や

マナー啓発を行う

人材の配置

▷市民エージェント

ーバルセロナ(スペイン)

▷スチュワード

ーローマ、フィレンツェ、
ヴェネツィア(イタリア)



写真出典: <https://www.comune.venezia.it/it/content/intervento-9#:~:text=Gli%20steward%2C%20riconoscibili%20dalla%20divisa%2C,del%20sito%20patrimonio%20mondiale%20UNESCO>

五木田玲子(2024):特集1-1 ハワイ視察の全体像と利用者管理、観光文化260号 <https://www.itb.or.jp/tourism-culture/bunka260/260-03/>

日野善弘、Ana Pastor Alcaraz(2025):各論(2)バルセロナのオーバーツーリズム抑制と観光増税のゆくえ(観光立国へのシナリオ・オーバーツーリズムの対策等を探りながら(4))、地方財務、852号、pp.161-173

福永香織(2026):特集4-1 バルセロナ視察の全体像とシビックプライドを育む観光ガバナンス、観光文化268号 <https://www.itb.or.jp/book/tourism-culture/tourism-culture-268/>

- ▶ 国の「観光振興法」第48条の3(持続可能な観光活性化)に基づき、2024年に韓国国内で初めて指定。
- ▶ 「特別管理地域」= 収容範囲を超えた観光客の訪問で自然環境が損なわれたり、住民の平穏な生活環境を害する恐れがあり、管理する必要があると認められる地域。

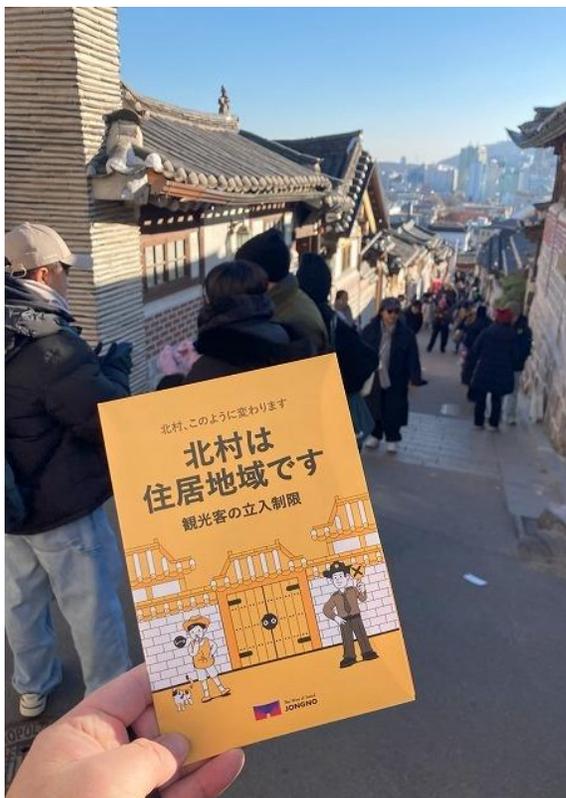
▶「特別管理地域」の指定

▷ゾーニング ▷訪問制限時間の設定 ▷人材の配置と過料

住民の
定住権の保護

—北村韓屋村(韓国ソウル特別市鍾路区)

住民に
「夕方のある暮らし」を返す



北村特別管理地域の指定範囲とゾーニング



出典:ソウル特別市WEBページ「ブクチョン(北村)特別管理地域における観光客の訪問制限のご案内(2024年11月~)」(日本語)
<https://japanese.seoul.go.kr/%E3%83%97%E3%82%AF%E3%83%81%E3%83%A7%E3%83%B3%E5%8C%97%E6%9D%91%E7%89%B9%E5%88%A5%E7%90%86%E5%9C%B0%E5%9F%9E%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%82%8B%E4%63%E5%85%A2%E3%81%AE%E8%A8%AA/>

各区域での実施内容

実施区域	実施内容
レッドゾーン 〔一箇所〕	制限時間に観光客の制限区域内の訪問禁止 -制限区域:北村路11キルー帯約34,000㎡ -制限時間:17:00から翌日10:00まで 違反時には過料賦課(10万ウォン)
観光バス 通行制限区域	制限区域内での観光バスの通行禁止 -制限区域:約2.3キロメートルの間 -制限時間:常時(土日祝日を含む) 違反時には過料賦課(一次違反30万ウォン、 2次違反40万ウォン、3次違反50万ウォン)
オレンジゾーン 〔二箇所〕	集中啓発活動を強化 ※住宅と商業が混在したエリア
イエロージョーン 〔一箇所〕	集中モニタリングによる地域管理を実施 ※住民の苦情が増加し始めたエリア

出典:ソウル特別市WEBページ「ブクチョン(北村)特別管理地域における観光客の訪問制限のご案内(2024年11月~)」(日本語)
<https://japanese.seoul.go.kr/%E3%83%97%E3%82%AF%E3%83%81%E3%83%A7%E3%83%B3%E5%8C%97%E6%9D%91%E7%89%B9%E5%88%A5%E7%90%86%E5%9C%B0%E5%9F%9E%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%82%8B%E4%63%E5%85%A2%E3%81%AE%E8%A8%AA/>



事例紹介

2

変容・複雑化する 問題への対応

静かに徐々に進行

事業活動の影響
観光モノカルチャー化、均質化、
観光ジェントリフィケーション、
スプロール化、
多様な担い手との共生など

都市の生活環境の質を維持するための対応 (不可逆的な地域変容への対策)

観光モノカルチャー化

- 地域に根ざした日常使いの店舗が姿を消し、観光客向け店舗やチェーン店に置き換わり、多様性を失う(均質化)。

観光ジェントリフィケーション

- 住民向け施設が購買力の高い観光客を相手にする宿や店舗に置き換わり、家賃高騰で転出を余儀なくされる。

対策の波及・副作用

- ある地域の対策(例:規制)が周辺部にウォーターベッド効果をもたらす場合あり(正負の影響)。

2 変容・複雑化する問題への対応

▶ 商店舗の多様性の確保

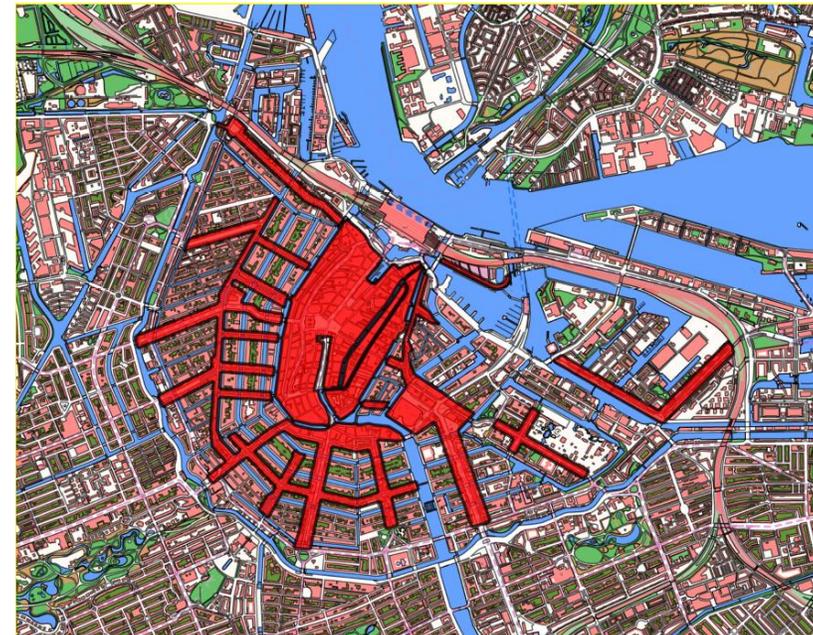
▷ ゾーニング

観光客のみを対象とした
新しい店舗や施設の出店を不許可
— アムステルダム(オランダ)



出典: Gemeente Amsterdam
<https://www.amsterdam.nl/bestuur-organisatie/volg-beleid/toerisme/publicaties-programma-stad-balans/>

観光客向け店舗の無制限な増加への対応
郵便番号1012地域と中心部の他の約40の通りでは、
観光客のみを対象とした新しい店舗や施設の出店を不許可



出典: https://asset.amsterdam.nl/m/bf2179342d14e757/original/Mengformule-niet-toegestaan-pdf.pdf?&conKey=MC05E2E7274FC7BBBU5CD24ZCUU4&refId=a11So000092lnqMAA&contentType=sfdc.cms_document

坪原紳二(2022): アムステルダム市のオーバーツーリズム対策—新型コロナウイルス感染症流行前後に導入された土地利用規制を中心に、都市計画論文集, 57(1), pp.76-89
https://www.jstage.jst.go.jp/article/journalcpj/57/1/57_76/pdf

▶施設開発の制御、規制誘導

▷観光用宿泊施設

特別都市計画(PEUAT)

ーバルセロナ(スペイン)

▶住民の住宅確保

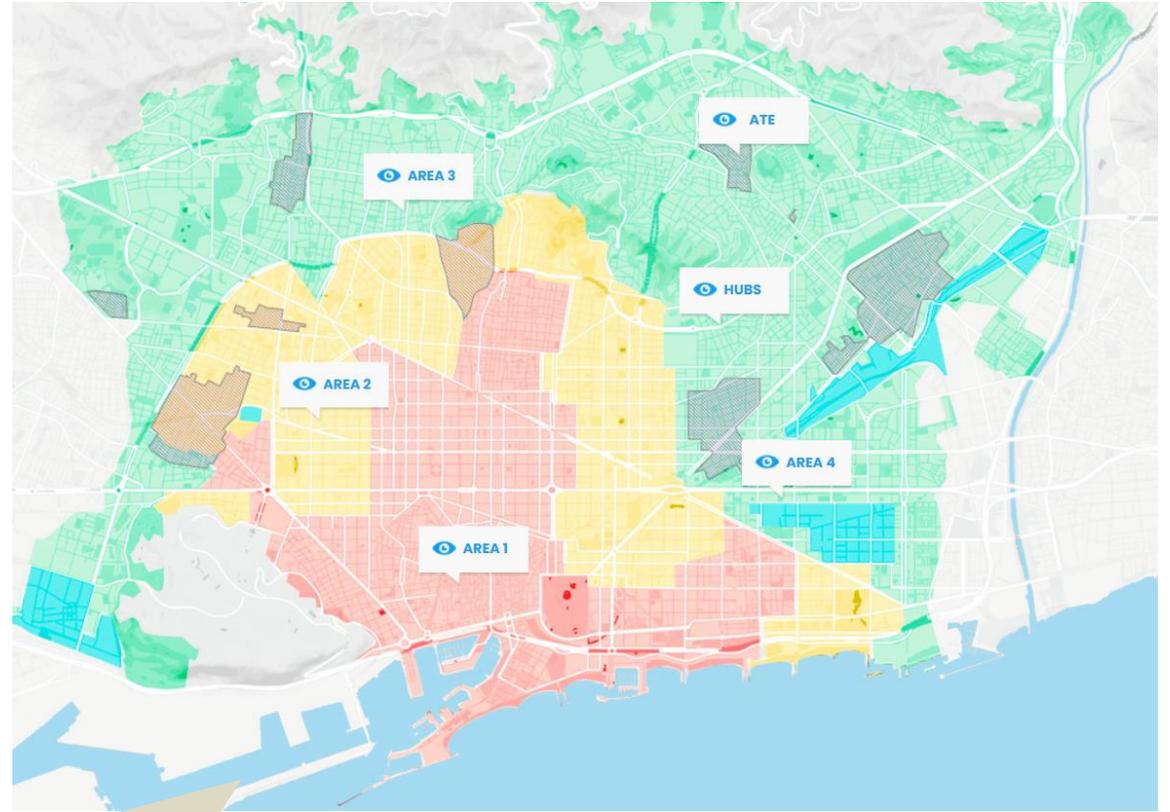
▷30%規制

ーバルセロナ(スペイン)

住む権利を
確保する

600㎡以上の開発の際にはその床面積の30%を低家賃の社会住宅に割り当てることを義務とする措置

4つのゾーンにゾーニング
ゾーンごとに宿泊施設の整備条件を設定



- ◎ゾーン1 一切の宿泊系用途を禁じる
- ◎ゾーン2 条件付き認可だが原則的に増設は禁じる
- ◎ゾーン3 新規施設の開設や既存施設の拡張が可能
- ◎ゾーン4 再開発に応じて立地が可能
- ◎特別措置エリア ◎幹線道路沿い

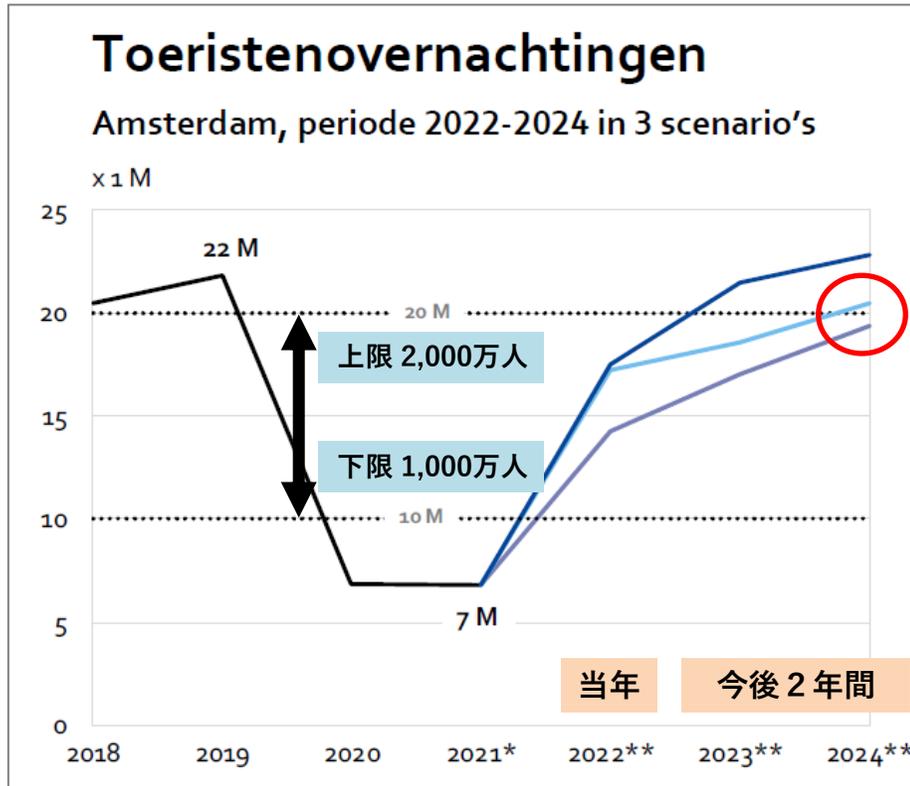
出典: PEUAT

<http://ajuntament.barcelona.cat/pla-allotjaments-turistics/en/>

▶データに基づく意思決定プロセスのシステム化

ーアムステルダム(オランダ)

需要予測(宿泊)



出典:アムステルダム市O&S(2022):Bezoekersprognose 2022-2024
<https://onderzoek.amsterdam.nl/zoek?thema=economie-en-toerisme>

▶バランスの取れた観光条例の制定

ポイント 1 観測・予測データに基づく行動を規定

需要予測(当年+今後2年間)[毎年]
観光収容力[2年に一度]

ポイント 2 宿泊数の帯域幅(上限・下限)の設定

帯域幅 年間 1,000万人~2,000万人
信号値 年間 1,200万人、1,800万人

ポイント 3 対策の検討および その実施の可否判断の時限設定

報告(~6月1日) ➔ 対策の検討・提案(6カ月以内)

➔ 最終政策文書の採択可否決定(3か月以内)

観光収容力調査

定義

生活の質を(大幅に)損なうことなく、近隣地区が耐えられる観光の圧力

指標

2つのパラメーターと各7つの指標で構成

観光収容力

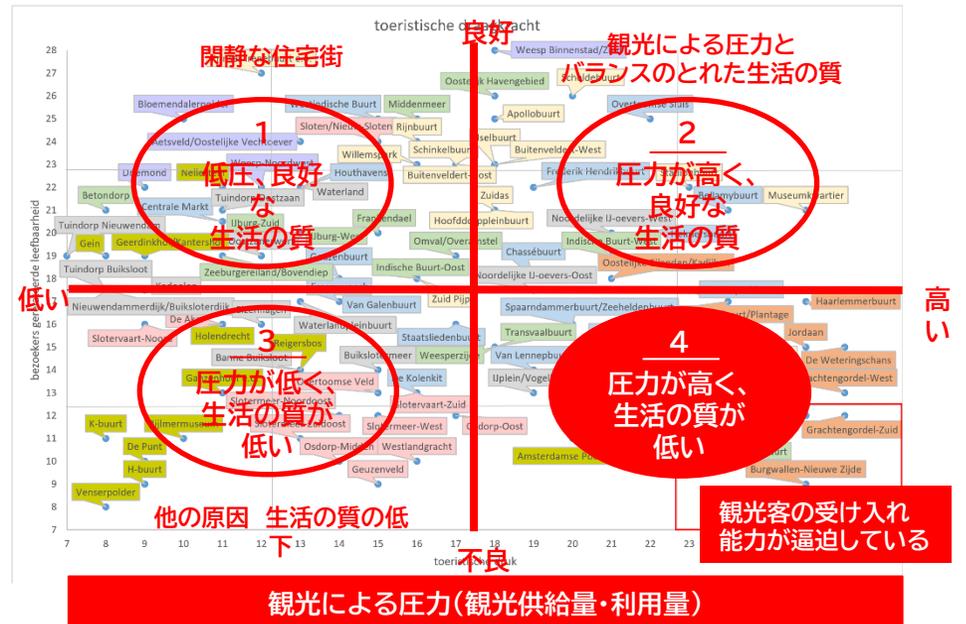
観光による圧力(観光供給量・利用量)

- 1 アトラクションの数(映画館、博物館、劇場、音楽会場、公園等)
- 2 宿泊施設の収容人数(絶対数)
- 3 住民1,000人当たりのAirbnbリスティング数
- 4 平方キロメートルあたりのその他の観光オフア(土産物店、チーズ店、栽培店、アイスクリームパラー等)
- 5 住民1,000人当たりのコーヒーショップの数
- 6 歩行スペースがほとんどない歩道の割合※混雑関連
- 7 外国の支払いカードを使用したPINTランザクションの数

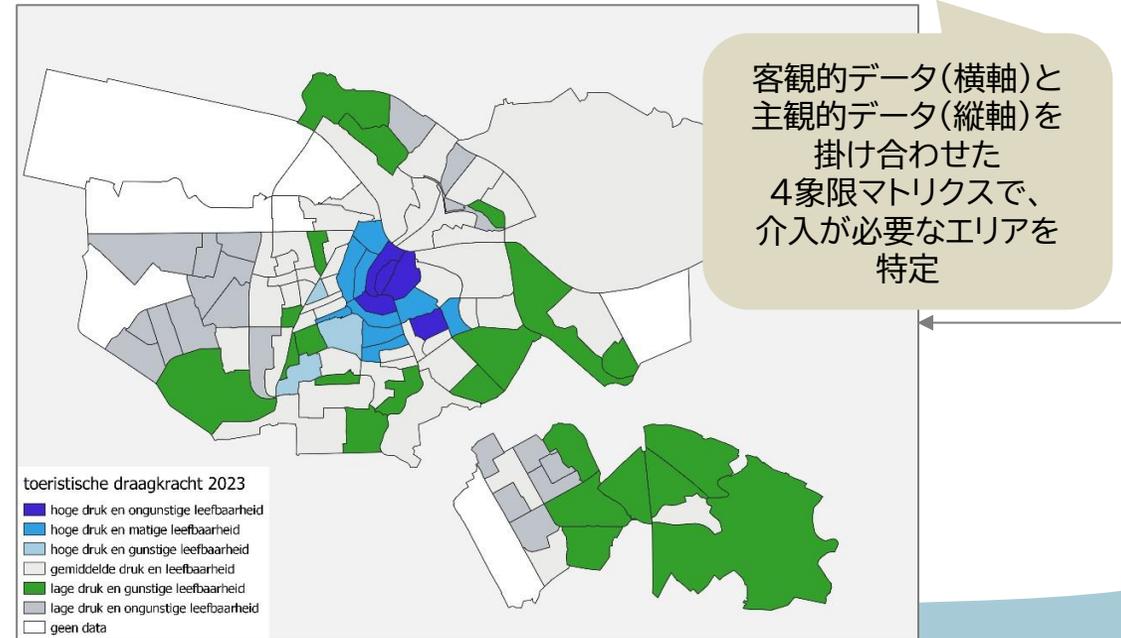
観光に関連する生活の質

- 1 危険認識指数
- 2 社会的一体性※近隣からの疎外
- 3 民泊の観光客による迷惑行為
- 4 汚染による迷惑行為
- 5 路上での泥酔者による迷惑行為
- 6 近隣住民による迷惑行為
- 7 小売商品の多様性(毎日の買い物に必要な店の範囲の評価)

観光に関連する生活の質



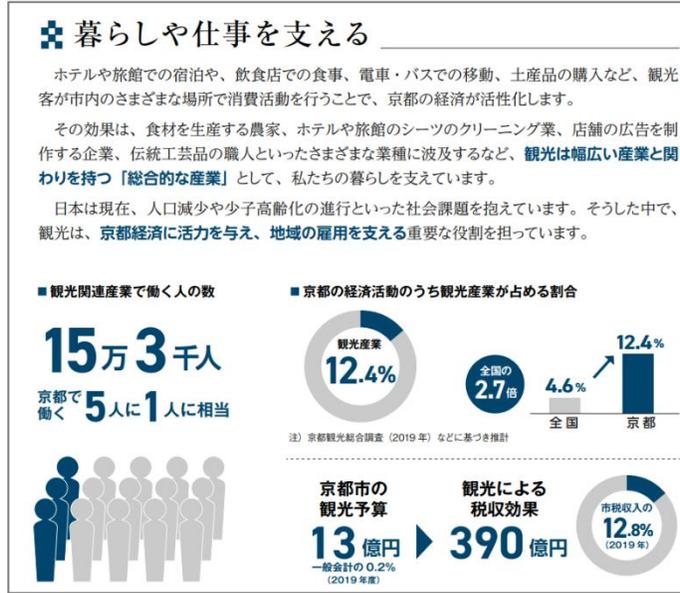
出典:アムステルダム市O&S (2024):Toeristische draagkracht vanwijken in Amsterdam in 2023より作成



▶観光の効果の見える化

—京都市・京都市観光協会(京都市)

- ✓ 京都観光に対する市民の共感の輪の拡大を図るため、観光が京都のまちにもたらす意義や効果、観光課題とその対策、今後の京都観光が目指す姿などを分かりやすく伝える冊子を作成。



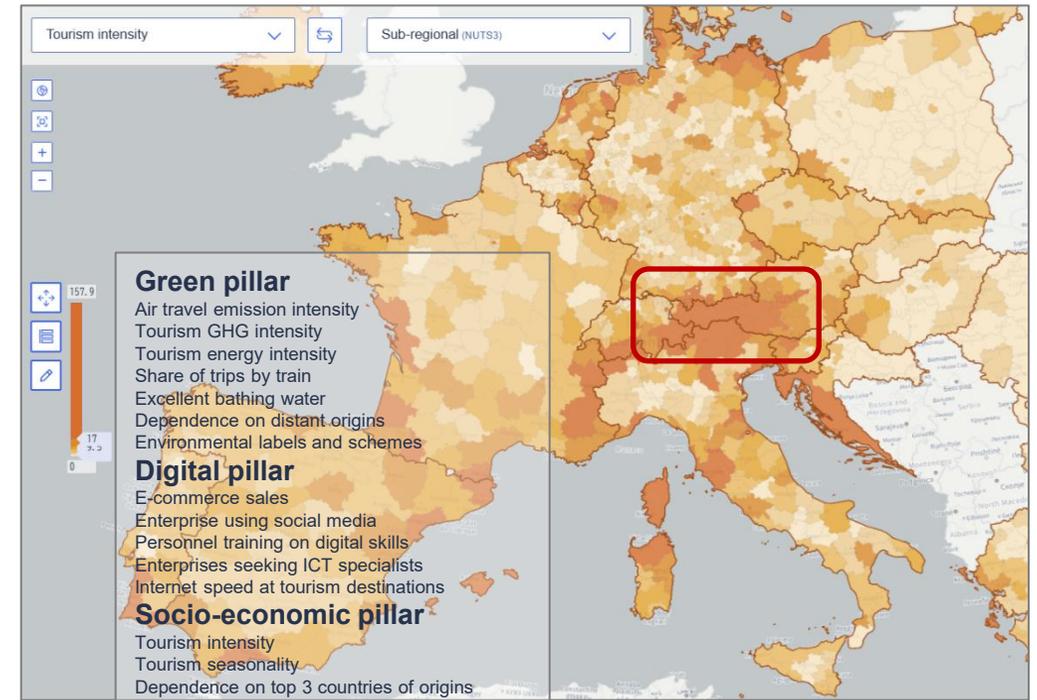
出典:『みんなで作る京都観光』 <https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000316070.html>

▶多面的な把握、データ整備

▶EUツーリズムダッシュボード

(3つの柱:グリーン、デジタル、社会経済)

Tourism intensity=観光宿泊施設での宿泊数を居住人口で除した数値



出典: EU Tourism Dashboard
<https://tourism-dashboard.ec.europa.eu/?lng=en&ctx=tourism>

事例紹介

3

観光客との 共創への再構築

積極的にアプローチ
参加・還元する仕組み
公共財の共創、文化の継承
共有する価値の明示
制度・基盤の再構築

観光魅力のある都市に
住むことの価値を
どう生み出すか

観光客が参加・貢献できる仕組み

- 観光客を消費者ではなく、地域の自然・文化の維持に参加・貢献する主体として位置づけ、行動や関与そのものを旅の価値として組み込む。

観光地での住民向けサービス

- 観光の受益者・利用主体として位置づけ、サービスや情報を通じて暮らしと観光のバランスを図る。

住民との対話、コミュニケーション

- 住民を単なる意見聴取の対象ではなく、意思決定に関与する当事者として位置づけ、対話を制度として組み込む。

観光の恩恵の配分、還元

- 観光によって生まれる経済的価値を、制度や組織を通じて地域住民等へ公正に配分・還元し、観光を地域社会の持続に結びつける。

共有空間、観光共有地の形成

- 地域を訪問者の消費の場としてのみでなく、住民・就業者・来訪者が共に利用し発展させる共有地として捉え、投資を通じて生活と観光の両立を図る。

3 観光客との共創への再構築

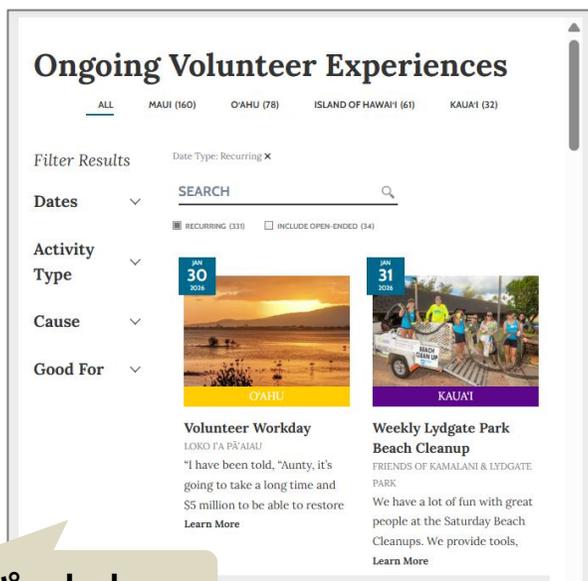
▶観光客が参加・貢献できる仕組み

金銭面以外での
協力、参加・貢献の
方法を束ねる

▶マラマハワイ
ボランティアプログラム
ーハワイ州観光局(アメリカ)

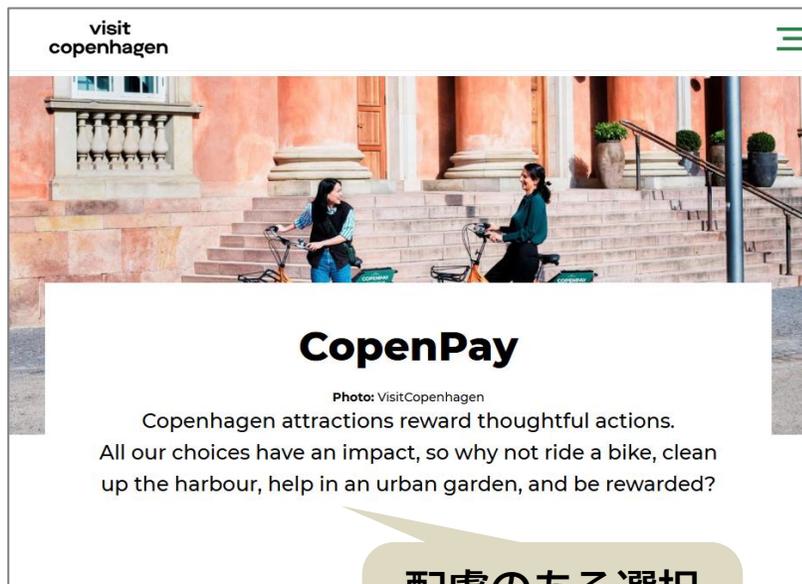
▶コペン・パイ
ーワンダフル・コペンハーゲン
(デンマーク)

▶利用者参加者制度
北アルプストレイルプログラム
ー中部山岳国立公園(日本)



パートナー

出典: <https://www.gohawaii.com/malama>



出典: <https://www.visitcopenhagen.com/copenpay>

配慮のある選択
をした旅行者は
報奨を得られる



出典: <https://chubu.env.go.jp/shinetsu/content/000159477.pdf>

参加方法の1つとして、登山道維持協力金へのご協力をお願いします。
協力いただいた方には、山小屋で協力証をお渡しします!

▶観光地での住民向けサービス

▶在住者向けの割引
カマアイナ割引
ーハワイ(アメリカ)



出典:Link link link
<https://kutchan-id-plus.com/>

▶市民の暮らしと観光をつなぐ
ポータルサイトの開設
(サービス・情報等)
ー京都市観光協会
(京都市)



出典:Kutchan ID+
<https://link.kyoto.travel/>

▶町民限定サービス
ー倶知安町(北海道)

▶住民との対話、コミュニケーション

▶市民参加のための
オンラインプラットフォーム
Decidim

ーバルセロナ
(スペイン)

出典:
<https://www.decidim.barcelona/?locale=ca>



阿部大輔(2022):「対話型政策決定の新たなかたち バルセロナのオンライン・プラットフォームDecidimの試み」、『「対話」を通じたレジリエントな地域社会のデザイン』、日本評論社、pp.146-160

▶観光の恩恵の配分、還元

▶フェアトレード/フェアツーリズム
ー公正観光(韓国)

▶社会的企業による配分
ー甘川文化村住民協議会(韓国釜山広域市沙下区)

▶観光市民還元基金の設置
ーバルセロナ(スペイン)

日野善弘, Ana Pastor Alcaraz(2025):各論(2)バルセロナのオーバーツーリズム抑制と観光税増税のゆくえ(観光立国へのシナリオ・オーバーツーリズムの対策等を探りながら(4))、地方財務、852号、pp.161-173
福永香織(2026):特集4-1 バルセロナ視察の全体像とシビックプライドを育む観光ガバナンス、観光文化268号
<https://www.itb.or.jp/book/tourism-culture/tourism-culture-268/>

▶共有空間、観光共有地の形成

ーインスブルック地域(オーストリア・チロル州)

新戦略～2030年(2024年策定)

インスブルック地域の
体験価値を高めることを通じて、住みやすい場所にする

主要プロジェクト

レジャーインフラへの
重点的な投資

今後10年間で少なくとも2,500万ユーロ

訪問者と住民のための
持続可能な移動手段への投資

今後5年以内に少なくとも1,500万ユーロ



出典:インスブルック観光局「明確な枠組み: 戦略の概要」
<https://www.innsbruck-tourismus.at/strategie/beitraege/ein-klar-rahmen/>

インスブルック観光協会の地域マネジャー

「インスブルック地域は、ここに住み、働き、訪れる

すべての人々にとっての、発展のための共有空間である」

(Lomsky, 2025)

Lomsky, André(2025): Über die Stadt hinaus, Innsbruck Tourismus, 2025-10-17,
<https://www.innsbruck-tourismus.at/strategie/beitraege/ueber-die-stadt-hinaus/>(2025年11月19日最終閲覧)

▶地域のブレンド力

▷由布院音楽祭、湯布院映画祭

ー由布院温泉(大分県)

「映画館がないまちで映画が観たい、音楽ホールのないまちで音楽が聴きたい、という住民の願いが結実したものです。」(溝口薫平, 2005)

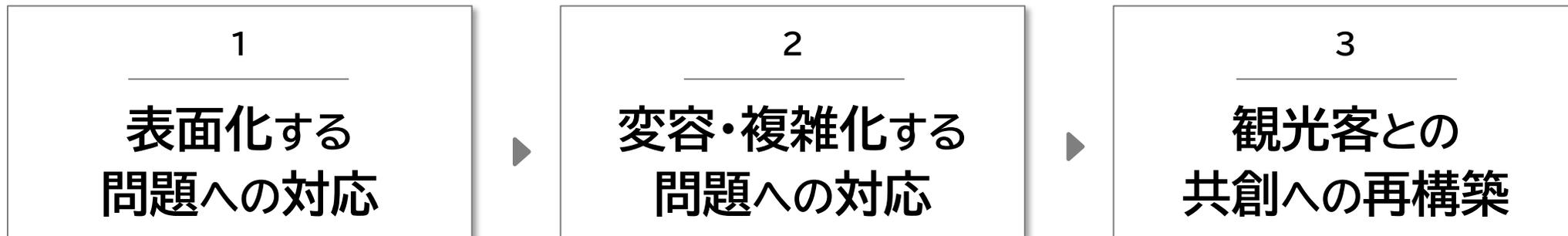
(社)企業メセナ協議会編著「先駆的なまちづくりで地域独自の文化を創出」『いま地域メセナがおもしろい』p.102

他流試合、ブレンドスタッフ
新陳代謝、ダイナミックな呼吸



まとめにかえて

観光と共に輝き続けるために－観光と都民生活の調和



目に見えてすぐに体感
観光客による混雑や交通渋滞、
マナー(騒音、無断の立ち入り等)、
ごみの放置など

静かに徐々に進行
事業活動の影響
観光モノカルチャー化、均質化、
観光ジェントリフィケーション、
スプロール化、
多様な担い手との共生など

積極的にアプローチ
参加・還元する仕組み
公共財の共創、文化の継承
共有する価値の明示
制度・基盤の再構築

観光の負の外部性

観光の正の外部性

初来訪者・リピーター

ファン・サポーター・パートナー

地域コミュニティの価値観・意思の明示

観光と共に輝き続けるために－観光と都民生活の調和

1 地域の価値観

- 地域コミュニティで大切にしている価値観・地域らしさ、習慣、作法などが、まず地域で共有できているか、伝えることができる状態になっているか(人間関係が構築できているか)

2 観光客への滞在価値

- 観光を通じて何を得たいのか
－環境・経済・社会、トレードオフへの意識
- どのような人に来てもらい、どのように滞在してもらいたいのか
- 受け入れ環境や情報データの整備、観光客・住民に届ける仕組み・人材

3 観光文化の醸成

- 自分たちも旅行者として、他の地域に受け入れてもらって初めて旅行できているという意識の醸成
- 住民であり旅行者
- 相互理解、相互作用

後藤健太郎(2017):まちづくりと観光事業の間にある壁⑦－「観光は双方向である」[コラムvol.339]
<https://www.itb.or.jp/researchers/column/column-machi7-goto/>

バランスの取れた都市2018-2022
(2019)



訪問者は歓迎されますが、中心となるのは住民です。

シティセンターアプローチ
(2020～現在)



私たちはオープンで国際的な都市中心部として国内外からの訪問者を引き続き歓迎しますが、それは彼らが私たちと同じ基本的価値観を支持している場合に限りです。

ビジョン2025(2020策定)
アムステルダムの観光経済のリデザイン



観光客がいなければ、街のバランスも崩れてしまいます。私たちは「質の高い訪問者」という用語を捨て、「価値のある訪問者」に焦点を当てることを好みます。

バランスの取れた観光条例
(2021制定)

本質的に、観光業はアムステルダムにとってプラスです。それは健全な財政、雇用、文化の豊かさ、都市の活気と威信に貢献します。

ただし、最適値は存在します。一定数の観光客が来ると都市のバランスが崩れ、観光のデメリットがメリットを上回ってしまいます。

市長と市議員は、住民、事業者、訪問者の利益の間のバランスが崩れた場合、または崩れる恐れがある場合に積極的に介入することが期待されています。

観光経済
ビジョン2035
(2022策定)



私たちは望む観光と望まない観光を明確に区別しています。

出典: Gemeente Amsterdam, Amsterdam & Partners



ご清聴ありがとうございました。

質問等がありましたら
[goto\[at\]jtb.or.jp](mailto:goto@jtb.or.jp)までご連絡ください。
 @を[at]に置換しています。